

5 私立大学について

(1)大学とは

大学は、「学術的・理論的な学問を学び、研究するとともに、幅広い教養を身につける」ための教育機関で、4年制が基本(医療系など学科によって6年制もある)です。※短大は「6. 短期大学について」

授業や研究室・ゼミでの研究を通して専門分野について深く学び、研究して論文を書くこともあります。大学を卒業すると「学士」の学位を取得します。

(2)入試制度について

2025年度入試(24年度3年生)から新課程に対応した入試となり、大学入学共通テストの教科・科目の再編などの変更がありました。各大学の個別試験は、様々な方式があり、自分の志望する大学がどうなるのか、正確な情報を得るよう、大学のホームページで調べ、オープンキャンパスに参加することが求められます。

とはいえ、高校での学習をしっかりと自分のものにしていくことが基本であり、基礎学力の土台が大事です。受験科目の問題演習を重ね、過去問題にも取り組み、入試に対応できる学力をつけていきましょう。

大学入試の方式には、大きく分けて「一般選抜」「学校推薦型選抜(公募制・指定校制)」「総合型選抜」の3種類があります。

① 一般選抜

私立大学の一般選抜は学力試験重視で、各大学が独自に行う個別試験によるものと、大学入学共通テストを利用したものがあります。個別試験は1月下旬から実施され、受験科目は3教科が基本で、文系は、英語、国語が必須で、地歴・公民・数学から1科目を選択するケース、理系は、英語、数学、理科が必須のケースが多くありましたが、近年は、2科目や1科目で受験できる大学も増えてきています。共通テスト利用は、大学・学部などによって異なりますが、1科目～3科目利用が中心です。(共通テストは9月に説明会があり、高校単位で一括出願するので、あとから個人で出願することはできないので注意してください。)

試験日が重ならなければ何校でも出願でき、同じ大学を何度も受験することも可能ですが、受験機会を増やすと、その分受験費用が多くかかることも考えて、受験プランを立てましょう。

②学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、出身学校長の推薦が必要な入試で、大学が指定する評定平均値や出席日数などの出願条件を満たしていないと出願できません。基本的に「専願」で合格したら必ず進学する必要があります。

選考方法は、書類選考(調査書・推薦書・志望理由書など)、面接、小論文、学力検査などが一般的で、高校の成績や活動状況、学びへの意欲なども含めて総合的に人物や学力を評価するのが特徴です。12月頃の可否結果を受けてさらに一般選抜に挑戦する場合があります。結果を待ってからでは間に合わないの、推薦型で受験する場合でも、一般選抜のための学科試験対策をしっかりとやっておくことが望まれます。学校推薦型選抜には、「公募推薦」と「指定校推薦」の2種類があります。

ア)公募推薦

評定平均値など、大学が求める出願条件を満たしていて、学校長からの推薦が得られれば、誰でも受験できます。学校の成績が一定の基準を超えていれば出願できる公募制一般選抜と、スポーツや文化活動で活躍したことをアピールできる公募制特別選抜があります。10月末から11月頃に出願が始まり、11月に選考が実施され、おおむね12月頃には可否が決まります。

イ)指定校推薦 ※6-10「2024年度 指定校入試要項一覧」参照

大学から特定の高校に指定されるもので、推薦できる人数が限られているため校内選考が実施されます。校内選考では、評定平均値をはじめ3年間の高校生活が総合的に評価されます。8月下旬に公示・募集され一次選考は9月になります。試験は主に10月から12月にかけて実施され、合格後に大学から入学前課題が課されることもあります。大学入学後に勉強についていけるよう、学習習慣の維持が欠かせません。なお、校内選考決定後の進路変更は認められません。また、大学からの指定校依頼は毎年見直されます。

③総合型選抜(旧AO入試)

学力だけでなく、「学ぶ力」を総合的に評価する選抜方式で、大学・学部への適性や学習意欲、人間性を多面的に見るのが特徴です。大学はそれぞれに「どのような学生に入学してほしいか」を「アドミッションポリシー」として掲げています。志望理由書などの書類の他、面接や小論文、体験授業などを通して、アドミッションポリシーに合致する人物を選抜する方式で、大学と受験生のマッチングが重視されます。

選抜方法は、書類選考、面接、小論文が基本ですが、学力試験や実技試験、レポートや口頭試問などで知識・理解が問われるケースもあります。

原則として9月以降に出願がスタートしますが、出願に先立って、6月頃からエントリーや面接が実施される場合があります。中には、オープンキャンパスに参加しないとエントリー資格が得られない、エントリーが出願の条件になっているなどのケースもあります。オープンキャンパス参加、エントリーシートの提出から、面接などを重ねて、選考期間が3ヶ月と長期にわたることもあります。早いうちに志望校をリストアップし、志望校が求める条件を確認しておくことが必要で、総合型選抜で受験する場合は、オープンキャンパスへの参加は欠かせません。学校推薦型選抜や一般選抜ほど入試日程が特定の時期に集中しておらず、大学によって様々で、年に複数回の入試日程を設けている大学もあります。

近年、推薦入試で年内に進学先を決める割合が高くなっていると言われます。2年生の夏以降には志望校を見定めた対策、受験プランを立てて、自分の受験科目を把握して勉強し、模擬試験を受けましょう。

(3)私大入試スケジュール ※日程は変更になることがあります。特に新課程入試日程は必ず調べること。

1 学 期	4月	進学説明会・オープンキャンパス(模擬授業・体験講座・体験入学なども実施される) *学校推薦型選抜・指定校推薦(佛教大学 MU 入試・特別推薦を含む)説明会
	5月 6月	*共通テスト模試 *大学入学共通テスト説明会1 *大学別説明会週間・小論文模試
2 学 期	7月 夏季休業	総合型選抜エントリー開始 *総合学力記述模試・実力診断テスト 進学説明会・オープンキャンパス 各大学選抜要項発表
	8月下旬 9月初旬 9月中旬	*実力診断テスト 学校推薦型選抜(指定校)・特別推薦 一覧表公示 応募願の配布・ 応募 学校推薦型選抜(指定校)・特別推薦 1次 校内選考結果発表 ・2次募集 総合型選抜 出願 開始 *共通テスト模試 *指定校2次校内選考結果発表 大学入学共通テスト 受験案内配布・出願手続き *大学入学共通テスト説明会2 *学校推薦型選抜(指定校)・特別推薦受験対象者説明会 *進学模擬面接開始 * 大学入学共通テスト 出願 校内締め切り
3 学 期	9月下旬～ 10月 11月	総合型選抜 試験 開始 *記述模試 学校推薦型選抜(指定校)・特別推薦 出願 開始 学校推薦型選抜(指定校)・特別推薦 試験 *共通テスト模試 学校推薦型選抜(公募) 出願 開始 総合型選抜 合格発表 学校推薦型選抜(公募) 試験
	12月	学校推薦型選抜(指定校)・特別推薦 合格発表 一般選抜 出願 開始 学校推薦型選抜(公募)合格発表
3 学 期	1月	大学入学共通テスト 実施 一般選抜 試験
	2月	一般選抜 合格発表 *合格発表以降も入試はあります。(3月入試のある大学も)

